

=====

東海生研 ～ メールマガジン 第162号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

=====

**** 《もくじ》 ****

- 1. 平成30年度「知」の集積による産学連携支援事業
 - ☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 総会及び第1回セミナー
 - ☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 第2回セミナー (予告)
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
 - ☆平成30年度「食品安全セミナー」 (東海農政局)
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
 - ☆農林水産省等のイベント情報
- 4. 競争的研究資金について
 - ☆平成29年度補正予算 革新的技術開発・緊急展開事業 (うち経営体強化プロジェクト) (追加公募) (農研機構・生研支援センター)
 - ☆平成29年度補正予算 生産性革命に向けた革新的技術開発事業 (追加公募) (農研機構・生研支援センター)
 - ☆平成30年度 Society5.0 実現化研究拠点支援事業 (文部科学省)
 - ☆平成30年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業(二次公募) (環境省)
 - ☆平成30年度 A-STEP 企業主導フェーズ：NexTEP - A タイプ (JST)
 - ☆平成30年度 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA) オープンイノベーション機構連携型 (JST)
 - ☆平成30年度 産学共同実用化開発事業 NexTEP (JST) 未来創造ベンチャータイプ
 - ☆平成30年度 産学共同実用化開発事業 NexTEP 一般タイプ (JST)
 - ☆植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発/スマートセル関連技術実装 推進に向けて解決すべき新規課題の検討 (NEDO)
 - ☆平成30年度 NEDO 先導研究プログラム/未踏チャレンジ2050 (NEDO)
 - ☆平成30年度戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE) 独創的な人向け 特別枠「inovation」プログラム ICT 技術開発課題への挑戦者の公募(総務省)
 - ☆平成30年度ICTイノベーション創出チャレンジプログラム (I-Challenge!) (総務省)
 - ☆民間の競争的研究資金
- 5. 新技術情報について

◆ 1 ◆ 平成30年度「知」の集積による産学連携支援事業

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 総会及び第1回セミナー

【開催日時】平成30年6月14日（木）受付開始：14時

14時30分～16時45分

【開催場所】ウイंकあいち（愛知県産業労働センター）903会議室

アクセス：<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【内容】 総会 14時30分～15時30分

第1回セミナー 15時45分～16時45分

講演：「ゲノム編集による作物育種～現状・問題点・これから～」

講師：名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授 白武勝裕 氏

（東海生研ブログに解説がございます。http://blog.livedoor.jp/biotech_tokai_blog/）

【参加】参加費無料、事前申し込み

【情報交流会】参加費有り（3000円）事前申し込み

903会議室にて17時～18時30分

【申し込み】お申し込みについては、下記の東海生研ホームページのURLから申込書を取り出し、各項目をご記入の上、6月4日までに、FAX、電子メール、又は郵送にて下記宛てにお送り下さい。

URL：<http://www.biotech-tokai.jp/archives/2040>

送付先：FAX 052-789-4586

電子メール bio-npo * s4.dion.ne.jp * を@に代えてお送り下さい。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学農学国際教育研究センター気付

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

.....
☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 第2回セミナー

【開催日時】平成30年9月4日（火）13時30分～17時

【開催場所】ウイंकあいち（愛知県産業労働センター）1208&1209会議室

【講演】

第1会場（1208会議室）

○水産部会 13:30～14:30

「愛知県のアサリ漁業と減耗要因の検討」

愛知県水産試験場漁業生産研究所 主任研究員 松村貴晴 氏

○作物部会 14:30～15:30

「自家受粉が可能なニホンナシ新品種『なるみ』等のナシ品種育成の現状」

農研機構 果樹茶業研究部門 品種育成・病虫害研究領域 上席研究員 齋藤寿広 氏

○畜産部会 15:40～16:40

「肉牛生産における SPAY（卵巣摘出術）のメリットと活用事例」

モーモークリニック 大久保幸弘 氏

第2会場（1209会議室）

○林産部会 13:30～14:30

「薬用植物由来ポリフェノールと生物活性」

岐阜大学応用生物科学部応用生命科学課程 助教 山内恒生 氏

○食品部会 14:30～15:30

「果実（柿等の規格外品）のペクチンを利用した介護用食品・機能性表示食品の開発」

岐阜大学応用生物科学部 教授 矢部富雄 氏

【技術相談】 案件の受付をさせていただき、後日、対応させていただきます。

【参加】 無料、事前申し込み

【情報交流会】 参加費有り（2500円）、事前申し込み

1209会議室で17時から18時30分

◆2◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆平成30年度「食品安全セミナー」

（東海農政局）

○6月27日（水）13時30分～16時

【場所】 東海農政局第1会議室（1階）（名古屋市中区三の丸1-2-2）

【主催】 東海農政局

第一部 「食品安全と行政の取組」

東海農政局 消費・安全部 消費・安全調整官 田鎖 武 氏

第二部 「農薬の安全性について～農薬の安全確保と適性使用について～」

東海農政局 消費・安全部 安全管理課長 春日井健司 氏

【申込期限】 6月25日 17時まで

【開催案内】 <http://www.maff.go.jp/tokai/press/seikatsu/180528.html>

【参加】 参加費無料、定員40名になり次第締め切られます。

【参加申込】 上記 URL から FAX 又はインターネットでお申込み下さい。

以下の第一部の演題、講師は、上記と同じ。

○7月25日（水）

【場所】 東海農政局第1会議室（名古屋市中区三の丸1-2-2）

【主催】 東海農政局

第二部 「健康食品とサプリメントの正しい知識（仮）」 講師 外部講師を予定

○8月

第二部 「植物防疫、動物検疫の取組について（仮）」 講師 外部講師を予定

○9月

第二部 「輸入食品の安全性について（仮）」 講師 外部講師を予定

10月～3月の予定は下記 URL をご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/tokai/press/seikatsu/180322.html>

【お問い合わせ】消費・安全部生活課 担当者：三岡様、森本様
代表：052-201-7271(内線 2801)
ダイヤルイン：052-223-4651
FAX 番号：052-220-1362

.....

☆平成29年度「食料・農業・農村白書」「食育白書」「森林・林業白書」「水産白書」及び「食料支給率・食料自給率」に関する東海ブロック説明会

【開催日時】平成30年6月27日(水) 12:30開場
【開催場所】名古屋能楽堂会議室 (名古屋市中区三の丸1-1-1)
会場には有料駐車場がありますが、混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用下さい。

【開催案内】東海農政局HP：http://www.maff.go.jp/tokai/press/kikaku/180601_18.html

【説明内容及び時間】

- (1) 食料自給率・食料自給力 (13:00～13:20)
- (2) 食料・農業・農村白書 (13:30～14:15)
- (3) 食育白書 (14:25～15:10)
- (4) 森林・林業白書 (15:20～16:05)
- (5) 水産白書 (16:15～17:00)

お聞きになりたい内容の時間に合わせてご来場下さい。

【募集人数】各80名 申込多数によりご参加いただけない場合のみ連絡があります。

【参加申込み】申込期限は6月20日(水)

申込方法、参加申込書、会場案内図、お問い合わせ先は、上記の開催案内をご覧ください。

.....

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 6月研究会

【開催日時】平成30年6月28日(木) 午後2時から5時
【開催場所】名古屋市市民活動推進センター 研修室
名古屋市中区栄三丁目18番1号
ナディアパーク・国際デザインセンタービル 6階 (052-228-8039)

【講師】

14時～15時20分

・「粗バイオディーゼル燃料の精製技術」

名古屋大学 名誉教授 山根恒夫 氏

15時30分～17時

・「丸太燃料が世界を変える」

レッツ株式会社 代表取締役 川島英雄 氏

【会費】 会員 無料 会員以外 1,000 円 (学生 500 円)

【懇親会費】 講師を囲んでの交流会を予定しています。(自由参加)

会費 3,000 円 場所: 新栄 うお浜 (会場へはタクシー乗合せ)

【お申込み】 下記事項をご記入のうえ、下記メール宛てに件名を添えてお送り下さい。

CRN事務局行き E-mail: gt-keisoku@re.commufa.jp

「6月28日(木)のCRN [研究会例会]」

研究会 出席 又は 欠席

懇親会 出席 又は 欠席

所属: 氏名:

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センターが開催するセミナー等の情報は、下記のURLの通りです。

<http://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/event/index.html>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成30年度競争的研究資金等について

☆平成29年度補正予算 革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト)
(追加公募) (農研機構・生研支援センター)

http://www.naro.affrc.go.jp/brain/h27kakushin/keiei/koubo_h29/tsuika_koubo.html

分野等:

1. 超省力安定多収直播栽培技術の開発
2. 国際競争力強化に向けた生鮮野菜の容器包装技術の開発

公募期間: 平成30年4月20日~6月19日

☆平成29年度補正予算 生産性革命に向けた革新的技術開発事業(追加公募)

(農研機構・生研支援センター)

http://www.naro.affrc.go.jp/brain/productivity/koubo/tuika_koubo.html

分野等: レーザーセンシング技術等を活用した森林路網作設支援システムの開発

公募期間: 平成30年4月20日~6月19日

☆平成30年度 Society5.0 実現化研究拠点支援事業

(文部科学省)

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1403785.htm

分野等：学長等のリーダーシップの下、情報科学技術を基盤として事業や学内組織の垣根を超えて研究成果を統合し、社会実装に向けた取組を加速することにより、Society5.0（IoT、ビッグデータ、人工知能等のイノベーションをあらゆる産業や社会生活に活用することで、様々な社会課題が解決される社会）の実現を目指す大学等の先端中核拠点を支援する。

公募期間：平成30年5月1日～6月18日

.....
☆平成30年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業(二次公募) (環境省)

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/30_a43_1/30co2.html

分野等：

1. 交通低炭素化技術開発分野
2. 建築物等低炭素化技術開発分野
3. 再生可能エネルギー低炭素化技術開発分野
4. バイオマス・循環資源低炭素化技術開発分野
5. 社会システム革新低炭素化技術開発分野

公募期間：平成30年5月18日～6月18日

.....
☆研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) (JST)

平成30年度 企業主導フェーズ：NexTEP-A タイプ

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h30nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた企業による大学等の研究成果に基づく技術シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成30年4月2日～7月31日（第1回）、11月30日（第2回）、平成31年3月29日（第3回）

.....
☆平成30年度 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA) (JST)

オープンイノベーション機構連携型

<http://www.jst.go.jp/opera/koubo.html>

分野等：文部科学省の「オープンイノベーション機構の整備事業」を持続的に機能させていくための基盤となる非競争領域の産学共同研究、博士課程学生等の人材育成及び産学連携システム改革を一体的に推進する。

公募期間：平成30年4月12日～6月22日

.....
☆平成30年度 産学共同実用化開発事業 NexTEP 未来創造ベンチャータイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu.html>

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援する。

公募期間：平成30年4月2日～7月31日（第1回）、11月30日（第2回）、平成31年3月29日（第3回）

.....
☆平成30年度 産学共同実用化開発事業 NexTEP 一般タイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu.html>

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援する。

公募期間：平成30年4月2日～7月31日（第1回）、11月30日（第2回）、平成31年3月29日（第3回）

.....
☆植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発/スマートセル関連技術実装推進に向けて解決すべき新規課題の検討 (NEDO)

http://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100128.html

分野等：NEDOでは、植物や微生物の細胞が持つ物質生産能力を人工的に最大限引き出した「スマートセル」を構築し、化学合成では生産が難しい有用物質の創製、または従来法の生産性を凌駕することを目的に、基盤技術及び特定の生産物質における実用化技術の研究開発プロジェクトを推進している。将来的に持続可能な社会の構築に資するスマートセルによるものづくり「スマートセルインダストリー」の実現を目指している。本事業ではスマートセル技術の社会実装推進に向けて、今後さらに解決が必要となる周辺技術やスマートセル技術の実用化・事業化における検討課題を明らかにするための先導研究提案を募集する。

公募期間：平成30年5月22日～6月21日

.....
☆平成30年度 NEDO 先導研究プログラム/未踏チャレンジ2050 (NEDO)

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100183.html

分野等：CO2を有効活用し化学品を得る技術分野（1. Net Zero Emission（NZE）を実現するCO2有効活用技術、2. Direct Air Capture（DAC）を実現する複合技術）

公募期間：平成30年5月28日～7月12日

.....
☆平成30年度戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）独創的な人向け特別枠「innovation」プログラム ICT技術開発課題への挑戦者の公募 (総務省)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000245.html

分野等：ICT分野において破壊的な地球規模の価値創造を生み出すために、大いなる可能性がある奇想天外でアンビシャスなICT研究開発課題への挑戦を支援する。

公募期間：平成30年5月22日～7月20日

.....
☆平成30年度 ICT イノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）(総務省)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000239.html

分野等：ICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの

融合（ICT×〇〇）をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成30年4月12日～平成31年3月29日

.....

<民間の競争的研究資金>

当研究会のホームページに掲載した公募情報からご覧ください（下記のURL）。

「農林水産・食品分野の公募情報」：<http://www.biotech-tokai.jp/news/public>

◆ 5 ◆ 新技術情報について

☆野菜関係

○カットやスライス用に適したトマト「サンドバル」の特性を活かす栽培技術の開発

愛知県農業総合試験場が育成したトマト品種「サンドバル」は、子室数が多くスライスした時にゼリー部が落ちにくく、果汁が液だれしにくいいため、サンドイッチやサラダなどの業務用需要に向いています（平成26年育成）。また、単為結果性で、生産者は着果のための労力（植物ホルモン処理）やコスト（マルハナバチ導入）を削減できます。平成29年の愛知県農業総合試験場の10大成果の1つとして、「サンドバル」の特性を活かす栽培技術の開発が挙げられています。

- ・愛知県農業総合試験場10大成果：<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-keici/2017seika.html>
- ・「サンドバルの栽培指針」：<http://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/209828.pdf>
- ・愛知県 HP：トマト「サンドバル」 <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/nososi/0000070156.html>

☆果樹関係

○自家受粉が可能なニホンナシ新品種「なるみ」

ニホンナシの主要品種は、自家不和合性で他の品種の花粉が受粉しないと結実しません。このため、他の花粉を人工受粉する必要があるため、受粉時期には多くの労力を要し、農家の高齢化の下で、その改善が求められています。農研機構の果樹研究所（現在、果樹茶業研究部門）では、自家和合性のニホンナシ新品種「なるみ」を育成しました。

この研究成果については、NPO 法人東海生研の平成30年度第2回セミナー（9月4日）で、育成者の齋藤寿広をお招きして講演をしていただきますので、本件に関心のある方は是非、ご参加下さい。

- ・農研機構プレスリリース：自家受粉が可能なニホンナシ新品種「なるみ」
http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/fruit/060153.html
- ・NPO 法人東海生研第2回セミナー：http://blog.livedoor.jp/biotech_tokai_blog/

☆森林・林業関係

○木質バイオマス発電における燃料チップ買取価格と発電規模の関係を解明

我が国では、再生可能エネルギー固定価格買取制度の下で、各地で木質バイオマス発電の建設計画が進んでいます。森林総合研究所は、研究成果として、実際に調査したデータからモデルを作成し、バイオマス発電事業の収益と支出が等しくなる損益分岐点を求め、損益分岐点にある燃料買取価格と発電規模の関係が分かる図を作成しました。この結果を活用すると、森林の未利用バイオマスの供給コストに関する限界の一つの目安が得られます。

・森林総合研究所 HP：研究最前線 2015年紹介分

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/research/saizensen/2015/20150610-01.html>

・一般社団法人日本エネルギー学会 HP：論文「再生可能エネルギー固定価格買取制度を利用した木質バイオマス発電事業における原料調達価格と損益分岐点の関係」日本エネルギー学会誌 Vol.94 No.3 p.311-320 (2015) <http://doi.org/10.3775/jie.94.311>

編集後記

6月になりました。暑い日が続いていますので、体調管理に気を付けたいと思います。米朝首脳会談が6月12日に行われる予定ですが、融和が進んで一層の平和な関係が進むことが望まれます。

ところで、本屋さんで全身が緑色の奇抜な服を着て、捕虫網を手にしたバッタ男の表紙の本を思わず手に取りました。昆虫学者（バッタ博士）の前野 ウルド 浩太郎著「バッタを倒しにアフリカへ」（光文社 新書）です。ウルドとはミドルネームで、「〇〇の子孫」という意味だそうで、モーリタニアにある国立サバクトビバッタ研究所長より授かった名前だそうです。今、日本ではバッタやチョウなどが見られる季節ですが、アフリカの半砂漠地帯では、しばしばサバクトビバッタによって農作物を食い荒らされて大きな被害を受けるようです。そんなアフリカの地で自分の夢を叶え、アフリカを救うために奮闘する著者の生き方に自然な感激を覚えました。さらに著者は、ユーモアたっぷりに語って、フィールドでの研究の重要性や魅力についても教えてくれます。そして、現場での観察や閃きが、重要な研究テーマに繋がることを語ってくれており、研究者だけではなく、多くの人に仕事でのヒントが得られる事を示してくれていると思います。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX：052-789-4586

E-mail：bio-npo2*y4.dion.ne.jp（*を@に書き換えてください）

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>